



オリオン座
昭和40年5月26日
(今泉1)



この場所で靴店を営み、
当時はよく知る
渡井 明子さん
(今泉1)

みんなに夢を与えてくれた映画館
オリオン座は、昭和30年代、映画ブームのさなかにオープンしました。そのころ映画は娯楽の代表格で、子どもも大人も夢中になり、街にはたくさんの方々が映画館がありました。毎週見に行くほどの映画ファンだった私は、自分の店(写真右)の目の前に映画館ができてうれしかったですよ。こけら落としで上映された「有楽町で逢いましょう」の主題歌が一日中拡声器から流れていたのを覚えています。作品ごとに職人による手がきの大きな看板が飾られ、写真さながらに美しく描かれた俳優の絵を見るのが、いつも楽しみでした。また、店先からは、2階の映画室で働く映写技師の姿がよく見え、窓越しに技師の男性と恋に落ちた女性が、なんともあつたんですよ。
年々客足は寂しくなったものの、子ども向けの作品のときは、相変わらず大人気でした。取り壊されて駐車場になった今も、目に浮かぶのは、上映を待つ親子連れが、映画館の入り口から和田川の橋まで並んでいた、懐かしい光景です。

こちら編集室

4月から、編集室の新スタッフになりました。今までは静岡市内で働いていたので、間近から見る富士山の雄大さと美しさに改めて感激！4月1日の富士山は、私の門出をお祝いしてくれているかのようなのでした。初めて広報の仕事に携わり、見るもの聞くものすべてが新鮮で戸惑っていますが、わかりやすく見やすい広報紙をつくっていただけだと思います。自分が楽しめないといい仕事はできませんから、取材も楽しんで、フットワーク軽く市内を駆け回ります！ちょっとは運動不足が解消されるかな?? (たっち)

人口	244,140人	(前月比-73)
男	121,068人	(-81)
女	123,072人	(+8)
世帯	89,370世帯	(+178)
4月1日現在		
編集・発行 富士市総務部広報広聴課		
〒417-8601 静岡県富士市永田町1-100		
☎0545-51-0123(代) ㊟0545-51-1456		